第7講　武家政権の確立

PART2 武家政権の確立

Chapter 1　封建制度の確立

目標
守護と地頭の違いについて知ろう。
武家社会の基礎となる封建制度とは何かを理解しよう。

1　守護・地頭の設置（1185年, 大江広元の建議）

①［1　　　　］

A　任命

各国1名，おもに東国の有力御家人。世襲や数か国の兼任も可。

※段別5升の兵糧米徴収権と田地支配権を廃止し，国地頭の権限を縮小したもの。

B　任務→軍事指揮官

あ　**大犯三か条＝大番催促・謀反人の逮捕・殺害人の逮捕**

い　東国では国内の御家人や国衙の在庁官人を指揮して警察権・行政権を行使

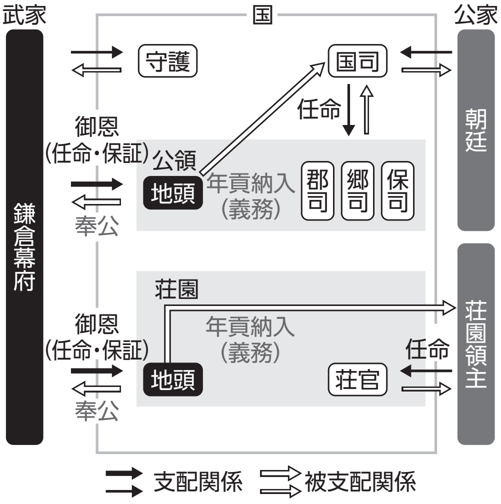
う　のち土地台帳の**大田文**を作成し荘園・公領に一国平均役も賦課

C　設置

全国

D　収入

名誉職なので守護としての収入はなし



荘園制と地頭

②［2　　　　］

A　任命

荘園・公領ごとに1名,

おもに東国御家人。

B　任務→所領管理人

あ　年貢の徴収・納入

い　土地の管理・治安維持

C　設置

あ　1185年に東国および畿内・西国に設置（＝国地頭）→翌年廃止され守護に

い　1186年に東国および平家没官領など謀反人の所領に限定（＝**荘郷地頭**）

う　奥州平定・承久の乱・蒙古襲来などを経て全国に拡大

D　収入

旧来の荘官・郷司などとしての収益で各地の先例に従う。

※新設の場合は基準あり。

2　御家人制の確立

土地〔所領〕の給与を通じ主人と従者の間に成立する
支配階級内部の法秩序を**封建制度**という。初の武家政権である鎌倉幕府では，
将軍と〔3　　　　　　　〕が直接の主従関係を結び，御家人制と呼ばれた。

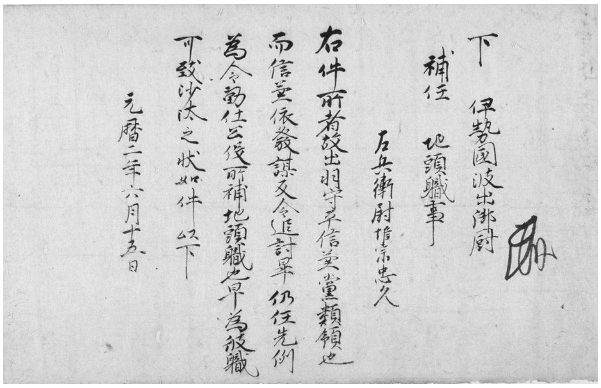
〔4　　　　　〕→主人として与える
※**本領安堵・新恩給与**（＝地頭職補任・所職の安堵），
朝廷への官位推挙など。

→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→

将軍〔鎌倉殿〕　　土地を媒介とする主従関係　　**御家人**

←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←

〔5　　　　　〕→従者として務める
※戦時の**軍役**（＝「〔6　　　　　　　　〕」），
平時の**京都大番役・鎌倉番役**，関東御公事など。


下　伊勢国波出御厨
補任　地頭職事
左兵衛尉惟宗忠久
右件所者故出羽守平信兼党類領也
而信兼依発謀反令追討畢　仍任先例
為令勤仕公役所補地頭職也　早為彼職
可致沙汰之状如件　以下
元暦二年六月十五日

源頼朝袖判下文

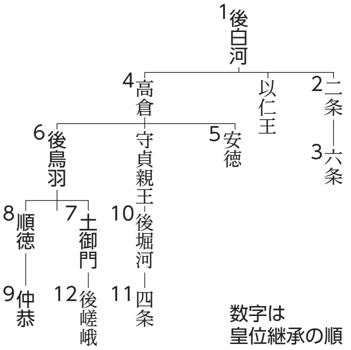
まとめ
守護は一国の軍事指揮官で，地頭は各所領の管理人だった。
土地〔所領〕の給与を通じ主人と従者の間に成立する
支配階級内部の政治・社会制度を，封建制度という。

Chapter 2　将軍独裁政治と公武二元支配

目標
鎌倉幕府の初期の政治形態について知ろう。
鎌倉幕府の二面性について知ろう。

1　将軍独裁政治

「鎌倉殿」「右大将家」と呼ばれた鎌倉幕府**初代将軍**〔1　　　　　　〕は，
執権を置かず**独裁政治**を行った。
※彼は，国家守護の役割を担うとともに，平氏に焼き討ちされた南都の復興を支援するなど，
　公家・寺社勢力と武家勢力の協調体制の確立に努めた。
※朝廷では後白河院政ののち後鳥羽院政が始まる。



天皇家略系図

伝源頼朝と源頼朝木像

2　公武二元的支配

当初，鎌倉幕府の独立性は薄かったが，東国を強固な地盤とする性格は残っていた。
※奥州平定の後に東北，承久の乱の後には畿内・西国に勢力を広げていった。

①朝廷（公家政権，畿内・西国が基盤）
　国ごとに〔2　　　　　〕，荘園・公領ごとに**荘官・郷司など**を任命（＝**非御家人**）。
　貴族・武士・僧侶・神官の官位叙任権を持ち，全国に**新制**と呼ばれる宣旨や法令を発布。
　※源頼朝の要請により設置された**議奏公卿** 10 名が，幕府との連絡役。

②幕府（武家政権，東国・東北が基盤）
　国ごとに〔3　　　　　〕，荘園・公領ごとに**地頭**を任命（＝**御家人**）。
　※守護の仕事は名目上軍事・警察のみで，荘園・公領への直接的な干渉は禁じられていた。

③鎌倉幕府の公武二面性

A　公家的性格

関東御領（500か所以上の平家没官領を中心とする将軍の荘園），

関東御分国（最大９か国あった将軍の知行国），

関東進止の地（幕府が地頭を設置），関東御口入地（幕府が地頭を推挙）の

４種類からなる関東御成敗地を経済基盤とし，

朝廷の発布する「（公家）新制」に基づき**支配体制に協力**。

※守護・地頭を通じて全国の治安を維持，

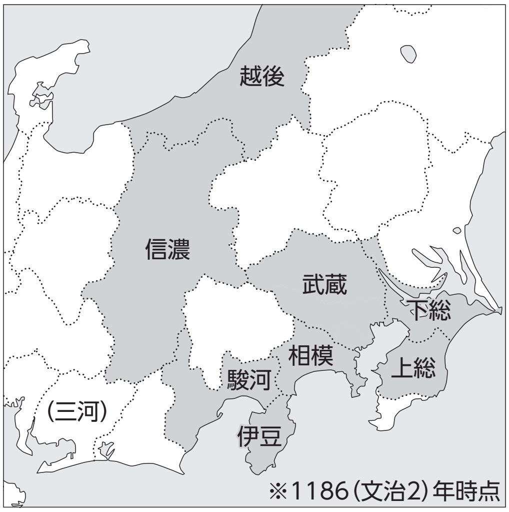
　地頭の年貢滞納を罰するなど荘園公領制の維持に努める。

B　武家的性格

東国を中心に武士団を御家人として組織化。**強固な所領支配を全国に**

広げようとしたことで，次第に国司・荘園領主と守護・地頭の対立が強まった。

※幕府も「（武家）新制」を出すようになる。



関東御分国〔関東知行国〕

まとめ

鎌倉幕府の初期は，初代将軍源頼朝による将軍独裁政治だった。

鎌倉幕府の経済基盤は荘園・知行国で，朝廷の荘園公領制維持に

積極的に協力していたが，その軍事力で国家守護の役割を担っていた。

第 7 講　PART 2　確認問題

1　守護の平時の職務である大犯三か条に**あてはまらないもの**はどれか。

①　殺害人の逮捕　　②　謀反人の逮捕
③　大田文作成　　④　大番催促

2　地頭に任命された人数として正しいのはどれか。

①　各国 1 名　　②　各国 2 名
③　荘園・公領ごとに 1 名　　④　荘園・公領ごとに 2 名

3　次のうち，御恩にあたるのはどれか。

①　京都大番役　　②　本領安堵
③　関東御公事　　④　軍役

4　次のうち，奉公にあたるのはどれか。

①　鎌倉番役　　②　官位推挙
③　本領安堵　　④　新恩給与

5　鎌倉幕府初代将軍源頼朝が行った政治はどれか。

①　執権政治　　②　独裁政治
③　律令政治　　④　王権政治

6 鎌倉時代，朝廷が国ごとに任命したのはどれか。

① 荘官　　② 郷司
③ 国人　　④ 国司

7 鎌倉幕府の基盤となった地域の組合せとして正しいのはどれか。

① 東国・東北　　② 東国・九州
③ 西国・東北　　④ 西国・畿内

8 将軍の知行国を何というか。

① 関東御口入地　　② 関東進止の地
③ 関東御領　　④ 関東御分国

第７講　PART２　確認問題 解答

1 解答：③

大番催促・謀反人の逮捕・殺害人の逮捕を**大犯三か条**という。源頼朝以来の慣習として定まっていたが，御成敗式目で成文化された。

2 解答：③

地頭には主に東国御家人が任命された。各国１名が任命されたのは**守護**である。

3 解答：②

御恩とは将軍が御家人に与える恩恵のことで，**本領安堵**のほか，**新恩給与**，朝廷への官位推挙などが挙げられる。

4 解答：①

奉公とは御家人が将軍に奉仕する義務のことで，平時の**京都大番役・鎌倉番役**のほか，戦時の**軍役**，関東御公事などが挙げられる。

5 解答：②

独裁政治とは，１人または１つの集団・階級が権力を握って支配する政治のことをいう。

6 解答：④

①の**荘官**と②の**郷司**は，荘園・公領ごとに任命された。

7 解答：①

朝廷は，**畿内・西国**が主な基盤となった。

8 解答：④

③の**関東御領**は，500か所以上の平家没官領を中心とする将軍の荘園である。鎌倉幕府は，関東御領，関東御分国，関東進止の地，関東御口入地の４種類からなる関東御成敗地を経済基盤とした。